提出期日：　令和6年6月18日（火）必着

二次選考用事例と一緒に提出してください。

6～9日目　２事例目領域届

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 受付番号 |  | ― |  | 氏　名 |  |

|  |
| --- |
| ・２事例目の指導事例の領域を事前に確認させていただきます。・６日目以降の演習時のグループ分け及び今後のプログラム構成等に活用いたします。・効果的な演習を行うために、２つ以上の領域を含む事例が望ましいです。キーワード例を参考に、以下４つの領域のうち、出来る限り○を２つ以上記入してください。・本用紙の原本は手元に残してください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ○印 | 6～9日目の領域 | キーワード例 |
|  | Ｄ 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント | 高齢者の骨折と生活への影響、筋骨格系疾患、廃用症候群、転倒予防、骨粗しょう症の予防、歩行の獲得、機能訓練、住環境整備、生活機能の回復、社会参加の回復、再骨折の予防、介護給付サービスの終結に向けた理解の促進（自助・互助への移行）、多職種協働（チームアプローチ） |
|  | Ｅ 心疾患のある方のケアマネジメント | コモンディジーズ、疾患の理解と確実な服薬、体重管理、塩分量や水分量の管理、生活機能の維持、自己管理能力の向上、リスクの管理、心理的な支援、フレイル予防、ステージに応じた生活・暮らし方の支援、急性増悪の予防、EOL（エンドオブライフ）準備、心疾患のリハビリテーション、多職種協働（チームアプローチ） |
|  | Ｆ 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント | 誤嚥性肺炎の予防、リスクの評価、摂食嚥下機能、誤嚥防止とリハビリテーション、入退院時の情報連携、入院後の生活復帰の見直し、多職種協働（チームアプローチ） |
|  | Ｇ 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント | 家族等支援、インフォーマルサポート、新たな社会資源開発のための連携、難病ケアマネジメント、高齢者虐待防止、介護放棄、レスパイトケア、生活困窮者施策、生活保護制度、後見制度、障害福祉サービス、虐待事例、地域のインフォーマルな支援等仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー、重層的支援体制整備事業、多職種協働（チームアプローチ） |

ＮPO法人千葉県介護支援専門員協議会